



毎度お世話になっております。株式会社シロクマです。電力不足と原発再稼働問題、消費税増税法案と政局など、様々な思惑が複雑に絡み合い、真実が見えにくくなっている今の日本。こんな状況下のせいか、7月27日開幕のロンドン五輪の話題はいま一つ精彩を欠いていますが、「がんばれ日本」の意識を持って、皆で盛り上げていきたいものですね。

今月のホット情報

消火器専用のフック！安心設置で、床掃除もらくらく



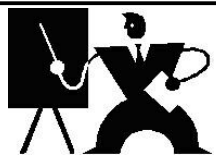
消防法によって定義された防火対象物から一般住宅まで、消火器は日常的に目にするものですが、置き方には意外と無頓着という事例も少なくないのではないのでしょうか？平成21年に大阪市内で消火器の破裂事故が起き、小学生が重傷を負いました。錆や傷が付いて腐食の進んだ本体部分が破裂したのです。その後、点検基準などが強化されたとはいえ、床面に無造作に消火器を置いた場合、水や液体がかかり、錆などの原因になってしまうということも・・・。

シロクマの「消火器フック」は、消火器を床面から少しでも離して設置してもらうことで、そうしたリスクを避けるために開発された専用フックです。ネジで壁面に固定するだけと取り付けは簡単。粉末10型(約5kg)までの壁掛けタイプの消火器に対応します。

材質はステンレス・ヘアライン仕上げ。コンパクトですっきりとしたデザインなので、設置場所を選びません。下部にエラストマー樹脂で覆ったサポート部分があるので、消火器を掛ける時の衝撃を和らげ、本体や壁に傷が付くのを防ぎます。また、本体がまっすぐ安定した形で納まります。

消火器はけっこう重いもの。フックに掛けておけば、床掃除の際もいちいち持ち上げる必要もなく、作業が楽に進みます。FEX-1のみ2サイズで税別価格1,380円と1,300円。他の4アイテムは各1サイズで1,300円です。

セミナーレポート



逆境を切り開く権利は誰もが平等に持っている

プロゴルファー、石川遼選手の父 石川勝美氏。新卒で入社した埼玉縣信用金庫に現在も勤務しながら遼選手のコーチ、マネジメントもこなしています。石川氏の講演内容には、子育てに限らず、「人を育てる」という企業人にとって大切な使命のヒントが散りばめられていました。

石川氏は「ゴルフは人生の縮図のように思える。自分が打ったボールの行く先は、今の自分の環境にもたとえられる。どんな駄目な状況に陥っても、そこから次を打っていかなければならないのがゴルフであり、人生でもある」と語ります。「人間は平等ではないが、そこから一歩踏み出す権利、逆境を切り開いていく権利は誰もが持っている」と。

遼選手も現在不振続きですが、石川氏は過去にも、不調に陥った息子に1冊の本を渡し、本や有名人の言葉で教育をしてきたといいます。遼選手は4歳頃にぜんそくやアトピーに悩まされ、せきやかゆみのため、夜なかなか寝つけないことから、毎晩『ソップ物語』などの読み聞かせを行っていたそうです。結果として、本の大好きな子供に育ち、読書が彼の人格をつくっていったとのこと。

遼選手は小学生の頃からプロ意識を持っていたそうですが、長島茂雄の自伝を読ませたことが大きいといいます。「アマは自分が楽しければいいが、プロは人を楽しませるプレーをしなければならない」と。「プロスポーツがなくなっても、関係者以外誰も困らない。その中で感動を与えようとしたら、手を抜いてはいけぬ」ということを早くから悟っていたようです。また、実は小さい頃から不器用で、友人が千回でマスターできることも1万回かかった。しかし、いざという時は1万回の方が役に立つ。何万回スイングしたかがゴルフに出てくると、根気強く努力し続けることの大切さも説きました。